



# 吉備国際大学 開学20周年

本年、吉備国際大学は開学20周年を迎えました。これもひとえに高梁市の皆さまのご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

吉備国際大学では開学20周年を記念して、広中平祐先生（助数理科学振興会理事長）の特別講演など、さまざまな記念行事を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております（すべて入場無料です）。

詳しくは、吉備国際大学ホームページ（http://kiui.jp/pc/）をご覧ください。

## 記念行事

- 10月23日(土) 加計グループインターナショナルフェスティバル
  - <午前>日本語スピーチコンテスト
  - <午後>市民と加計グループ留学生との交流会など
- 10月30日(土) 吉備国際大学附属研究所合同シンポジウム
- 11月6日(土) 吉備国際大学開学20周年記念式典、特別講演
- 11月7日(日) 吉備国際大学ホームカミングデー（同窓生対象）
- 11月13日(土) 地域スポーツ交流会
  - ・第2回吉備国際大学杯少年サッカー交流大会
  - ・吉備国際大学親睦テニス大会
- 11月20日(土)・21日(日) 吉備国際大学開学20周年記念「伊賀祭」



■問い合わせ 順正学園入試広報室 (☎@7178)

# 地名と歩く

## 七十一 愛宕



高梁のまちから眺める愛宕山



愛宕山（成羽町下原）

「愛宕」とか「愛宕神社」など私たちが良く耳にします。高梁市にも「愛宕」と名付けられた大きな山が二カ所あります。

その一つは、近世、松山城下のシンボルの山として、海拔四二七メートル、山の形も頂上が狭くて三角状にとがり、近世の城下町時代から形の良い目立つ山でした。神霊が宿っていると考えられて、「水分の神が住み、恵みの水を与えてくれ、春には里に降りて田の神となり豊作をもたらしてくれる神が住む山で、町の鎮守として愛宕（火防）の神や雨乞いの神（龍王宮）が居る山として信仰されて大切にされてきた「愛宕山」があります。

もう一つは、近世、山崎氏の陣屋町だった成羽のシンボルとして、人々の信仰の山として大切にされてきた成羽「愛宕山」があります。

高梁の「愛宕山」は、山上に八大龍王が住んでいて、雨を降らせ苗を育成してくれる龍王山として、雨乞い信仰がありました。それは、山上で火を焚いて「千貫焚き」雨をたんとれ、ジュウオー（龍王）サンと唱えながら、雨乞いをしました。雨乞い信仰の山でもあったのです。今でも頂上の大きな岩の上には、竜王宮が祭られています。また、山上には、創立が慶安四年（一六五二）と

いわれる竜王山長運寺（天台宗）があり、火防神社（愛宕神社）とともに防火の神、火伏せの神として、京都の愛宕神社を勧請し、神仏混淆の権現様として、天台宗の修験の山にもなっていました。神社の境内には、延宝五年（一六七七）に寄進された石燈籠、文化十一年甲戌年（一八一四）の銘が残る大きな石鳥居などが、信仰の盛んな時代の昔日をほうふつさせています。また、長運寺の境内には、天和三年（一六八三）銘の石仏が立ち、その横には、市内で一番大きいと思われる地藏石仏が立っています。江戸時代から「愛宕の信仰は盛んで、多くの人がお参りしました。城下町からは、松連寺の横を通り、榎林に至る正面からの愛宕道、それから榎井坂を登るコース、上谷から現在の国道四八四号のループ橋に沿って、不動明王の横を登る愛宕道などがあって祭りには参詣する多くの人々で賑わったと言われていました。そして藩主の信仰も厚かったように「愛宕山別當（長官の職）御領主代々御建立之所」（備中誌）とか。また「上房郡誌」には、「幽邃閑雅（奥深くもの静かな様子）四時（四季）の風光愛すべし」と「愛宕山」をたたえています。また「高梁八景」の一つとして「愛宕秋月」と題して詠まれています。小堀遠州の初期の作

と伝えられる頼久寺の庭は安土桃山時代から江戸初期にかけての枯山水の庭園として、「愛宕山」を借景として取り入れています。

成羽の愛宕山（三七〇メートル）は、陣屋町からよく見える山で、頂上に愛宕社が祭られていて、町を見降ろしています。これは、成羽藩二代山崎義方（一六六七〜一七〇八）が、交替寄合衆（老中の支配を受けていた3000石以上の無役の旗本で参勤交替の義務があった）として、江戸の愛宕下にあった愛宕社を勧請して、祭典に花火を奉納したと伝えられ、それが宝永年間（一七〇四〜一七一〇）の頃だといわれています。

今に伝わる愛宕花火＝成羽花火は、この愛宕山に祭られた愛宕権現という火防の神へ奉納したのが始まりなのです。陣屋町の路地にも愛宕小路という町名が残って、愛宕山の信仰の歴史を感じるので。

「愛宕」という地名は「愛宕」「阿多古」と書くことが多く、接頭語の「ア」と高（高所）を意味する「タコ」を表す地名ともいわれています。そして「愛宕山」という場合は「阿多古」という神名にもとづくもので、愛宕神社という火の神、火伏の神を祭っていて、愛宕信仰による伝播地名の一つなのです。

（文・松前俊洋さん）

## 寝台特急「サンライズ出雲」号で行く クリスマスの東京 12月24日(金)~26日(日)

JR伯備線備中高梁駅利用促進協議会は、寝台特急「サンライズ出雲」号の備中高梁駅停車実現に向けた取り組みとして、夏休みに臨時停車した企画の第2弾を次のとおり予定しています。

### ■旅程(予定)

	日	程
12/24(金)	備中高梁駅(21:48発・臨時停車)	—〈サンライズ出雲号〉(車中泊)
12/25(土)	—東京駅(7:08着)…東京都内(終日フリー)…ホテル(泊)	
12/26(日)	ホテル…〔出発までフリー〕…東京駅(16:00集合/16:30発)	—〈新幹線のぞみ号〉—岡山駅(19:56着/20:05発)—〈特急やくも号〉—備中高梁駅(20:42着)

■旅行代金 大人：36,200~45,700円、小人：23,100~27,200円  
※寝台特急の座席、ホテルの部屋タイプにより金額が異なります。  
詳しくは、申込先へお問い合わせください。

■募集人数 30人程度

■募集期間 11月15日(月)~12月9日(木) (予定)

※募集人数に達し次第、締め切ります。

■申込先 受託販売者ビホクツーリスト (☎@8778)

■旅行実施企画 備北バス(株)岡山県知事登録旅行業2-83号(街)全国旅行業協会会員

■その他 同協議会で、旅行代金の一部助成を行います。

■問い合わせ JR伯備線備中高梁駅利用促進協議会事務局  
(総合政策課内☎@0286)

### 編集後記

記録的な猛暑となった今年は、9月になってもずいぶん暑い日が続いていましたが、10月に入って朝夕の涼しさも増し、ようやく秋を感じるようになりました。

さて、今月号では開幕間近となった「あつ晴れ！おかやま国文祭」を特集し、出演団体や運営ボランティアとして参加される皆さん、また国文祭を盛り上げようと準備を進めている皆さんをご紹介します。

全国規模の催しだけに準備など大変なことも多いと思うのですが、今回取材させていだいて、皆さんの「国文祭をみんなで楽しもう、盛り上げよう」という気持ち伝わってきました。

何十年かに一度の日本最大の文化のイベントです。ぜひ皆さんも国文祭の会場へ足を運んでいただき、高梁の文化の魅力を再発見してみませんか。(YM)